

2016 岩国国際連帯集会挨拶レジュメ

- 1) 15年11月の法務省による突如の人事。福岡高裁那覇支部長に反動判事多見谷寿郎が就任。安倍政権による行政代執行訴訟に関して、県と国の和解勧告。3月からの和解作業中は辺野古の海上ボーリング調査を実質停止。
- 2) 16年9月16日、「違法確認訴訟」の反動判決。翁長知事の埋め立て取り消し行政処分を無効にし、仲井眞前知事の埋め立て処分が合法。判決まで3回の期日。実質審理1回（意見陳述は翁長知事のみ）。「判決に従うのか」と翁長知事に強要する⇒極端な訴訟指揮。
- 3) 16年7月、主要都府県機動隊500人及び沖縄県警300人による制圧下での自然環境を顧みない高江オスプレイパット建設作業の続行⇒12月22日北部訓練場返還部分の引き渡し式。奄美・琉球諸島の世界自然遺産登録運動のまやかし⇒世界自然遺産登録地の隣接に軍事基地はない。知床岬
- 4) 1879年「琉球処分＝琉球併合」時と本質は変わらぬ武装鎮圧⇒師範学校などでの皇民化教育の徹底、放言札（ウチナーグチの撲滅）による沖縄植民地体制⇒朝鮮、台湾の植民地支配するための試金石であった。
- 5) 大阪府警機動隊員による「土人発言」、「シナ人発言」の差別発言⇒「出張ご苦労様」（松井大阪府知事）、「差別とは断定できない」（鶴保沖縄担当相）1903年大阪博覧会における「人類館」事件。「琉球人お断り」ステッカー⇒右翼集団による沖縄差別を助長スルヘイト・スピーチの助長
- 6) 山城平和運動センター議長ら複数の抗議参加者への逮捕。県警によるヘリ基地反対協など8か所へのガサ入れ⇒年度末の最高裁判決の反動判決を前提にした辺野古新基地建設反対闘争への予防弾圧。
- 7) 安倍政権による中国敵視政策、沖縄を再びいくさ場の前提に軍事要塞化へ与那国島、石垣島、宮古島、奄美島などへの陸上自衛隊及びミサイル部隊配備計画。馬毛島の防衛省買い取りによる厚木からの艦載機訓練場設置。2014年以降に係わる防衛計画大綱（13年12月閣議決定）島嶼奪還作戦
- 8) 伊江島における岩国配備予定のF35B戦闘機やオスプレイ着陸帯工事はタッチ・エンド・ゴーなどの訓練強化を目的。高江オスプレイパット、辺野古新基地⇒訓練のトライアングル。
- 9) トランプ米政権誕生⇒翁長訪米による太平洋に浮かぶ小さな島からの巨象を齧らす住民運動の存在を顕示する闘いを！オール沖縄によるデモ行進
- 10) オール沖縄の団結で翁長県知事と稲嶺名護市長を支え、国際社会に訴える⇒自己決定権、平和的生存権、非暴力による抵抗権。

安次富 浩（ヘリ基地反対協議会共同代表）